

内 科

1. 内科の紹介

1人でも多くの内科専門医を養成し、愛媛県を中心とした地域の医療に貢献する志を持った医師の育成を最優先したプログラムを用意しています。そのため、愛媛大学医学部附属病院のみならず、県内の基幹病院プログラムと連携し、また、愛媛県内において指導体制を確立しているほぼ全ての病院と連携し、安定的に研修リソース

を提供します。また女性医師の働きやすい環境整備も配慮しております。安心して専門医研修ができる体制を構築し、次世代の医療を担う優れた内科専門医に育てることを約束し、責任を持って指導します。

2. プログラムの目的と特徴

内科専門医として、内科全般にわたる広い知識を持ち、最新かつ高度な医療を提供するとともに、全人的な内科診療と他職種にまたがるチーム医療を提供する能力を身につけることを目的とします。内科専門医研修と並行して、サブスペシャリティ専門医の取得を目指すコースを設定し、大学院でのリサーチマインドの涵養、プライマリーケアによる地域包括ケアへの貢献を、各個人の希望に合わせて促します。愛媛県内唯一の医育機関である愛媛大学医学部と併設しておりますので基礎医学講座に

よるアカデミア教育機会の提供、病理学講座との連携によるCPCが可能です。また、シミュレータを用いたJMECC受講などにより、専門医資格と資格試験に備える臨床経験を得ることが可能です。

なお、3年間の研修期間のうち基幹施設（愛媛大学医学部附属病院）で1年以上、立場や地域における役割の異なる連携施設で1年以上の研修が求められています。

3. 経験目標

内科専門医取得に必要な領域【総合内科Ⅰ（一般）、総合内科Ⅱ（高齢者）、総合内科Ⅲ（腫瘍）、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病および類縁疾患、感染症、救急】の疾患

を効率よく経験し、最終的に70疾患群、200以上の症例取得を目指します。

経験目標の詳細に関しては、新・内科専門医制度、研修手帳、J-OSLERで検索可能で下記リンクよりダウンロード可能です。

<https://www.naika.or.jp/wp-content/uploads/2015/08/2015-log.pdf>

4. 専門研修修了後について

内科専門医研修の後は、サブスペシャリティの研修希望に応じて、専門領域の担当診療科に所属し、サブスペシャリティ専門医の取得を目指します。また、大学

院への進学も促すことで、リサーチマインドを涵養しています。

5. 専門研修の問い合わせ先

担当：日浅陽一（消化器・内分泌・代謝内科学（第三内科）教授）

TEL：089-960-5308

E-mail：hiasa.yoichi.my@ehime-u.ac.jp

6. 各診療科メッセージ

第一内科



第一内科は血液内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ内科、感染症内科を中心に診療に当たっています。疾患の特性上、特定の臓器に限局しない全身性疾患であり、高いレベルの全身管理やトータルケアの能力が求められる領域です。同種造血幹細胞移植、分子標的療法、がん薬物療法、高度な免疫抑制療法などの先進の高度医療の実践に加え、指定感染症・感染症コンサルトの対応や院内感染制御チームとしての役割も担っています。

【問い合わせ先】 担当：竹中克斗

TEL：089-960-5296

E-mail：takenaka.katsuto.hy@ehime-u.ac.jp



第二内科

第二内科は循環器・呼吸器・腎高血圧内科を診療しています。

循環器領域では、経皮的冠動脈インターベンション、不整脈アブレーション、TAVIやMitraClipなどの先進的・低侵襲治療を行っています。2024年より中四国唯一の心移植実施施設として、重症心不全治療に携わっています。呼吸器領域では、新しい気管支内視鏡システムを導入し、遺伝子診断に基づいた最適な治療法を実践し、がん化学療法に関する治験にも数多く参加しています。腎高血圧領域では腎生検組織診断の下、最適な治療実践や腎代替療法導



入に努めています。当院と関連病院の連携によって、シームレスな初期・専攻医研修が可能です。

【問い合わせ先】 担当：山口 修

TEL：089-960-5303

E-mail：yamaguti@m.ehime-u.ac.jp



第三内科



当科は、消化器（消化管・肝胆膵）、内分泌・代謝性疾患（糖尿病、肥満）の内科診療に携わっています。

検査手技が多く、内視鏡、超音波等の各種検査・治療手技の専門技能習得が可能です。さらに、学会発表、論文作成も積極的に支援しています。大学内で最大規模の同門の先生方と連携病院を有しており、これらの基幹病院、研修指定病院と密に連携し、様々な臨床の現場に触れていただくことで、充実した研修を受けることが可能です。

【問い合わせ先】 担当：池田宜央

TEL：089-960-5308

E-mail：yikedai@m.ehime-u.ac.jp



脳 神 経 内 科



【問い合わせ先】 担当：大八木保政

TEL：089-960-5851

E-mail：ohyagiy@m.ehime-u.ac.jp



脳卒中・認知症・頭痛・てんかんなどのコモンな疾患から、多発性硬化症・パーキンソン病・脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症、筋疾患、末梢神経疾患など、全身の神経・筋疾患を対象としています。

大学病院では主に神経難病の専門的診断と特殊治療、関連病院では主に脳卒中・脳炎・てんかん・認知症などの診断と治療を経験します。

近年、診断技術や分子標的治療が進歩し、特に高齢化社会で需要が大きい領域です。

糖尿病内科・臨床検査医学



【問い合わせ先】 担当：大澤春彦

TEL：089-960-5647

E-mail：harosawa@m.ehime-u.ac.jp



糖尿病は、あらゆる臓器に障害を起こす全身疾患であり、血糖管理はもちろんのこと、内科全般にわたる総合的な診療、治療が出来ることを目標とします。同時に、サブスペシャルティ領域である内分泌代謝・糖尿病領域専門医、さらには糖尿病専門医については、連動・補完研修を行います。専門性の高い1型糖尿病やインスリンポンプなど最新の治療を経験出来ます。また、大学院に所属しながら研修を行えるプログラムも用意しています。

臨床薬理神経内科



【問い合わせ先】 担当：永井将弘

TEL：089-960-5095

E-mail：mnagai@m.ehime-u.ac.jp



当科は日本で唯一神経疾患を主対象とした臨床薬理学講座として開設されました。

薬物治療の有効性と安全性を最大限に高め、個々の患者さんにとっての最良の治療、いわゆるオーダーメイド治療を提供することを目指しています。

神経疾患を中心に内科全般の診療の中で、薬物動態、薬物相互作用を考慮した合理的薬物療法を行っています。薬物治療に興味があり、臨床薬理専門医や脳神経内科医を目指す皆さんの参加を待っています。